

「低レベル放射性廃棄物のモルタル充填に用いる 流量計問題」の実施状況・評価ほかについて

平成29年 5月12日
中国電力株式会社

低レベル放射性廃棄物の モルタル充填に用いる流量計問題について

1

<事象概要>

- 低レベル放射性廃棄物の搬出に先立ち、日本原燃株式会社により実施された監査において、低レベル放射性廃棄物を収めたドラム缶にモルタルを充填する際に用いる添加水流量計2台の**校正記録の写しが不正に作成された**事実が判明。
- また、それまでの過程で、添加水流量計ほか計3台の流量計について、メーカーによる校正(点検)の**正式な発注手続きが行われていなかった**事実やメーカー代理店から計器の一部に不調があるとして、**校正が完了せず戻ってきた流量計(計2台)を固型化設備に取り付け、運転していた**事実が判明。

原因と再発防止対策

原因

再発防止対策 ※2

【業務管理のしくみの問題】
<ul style="list-style-type: none"> ■ 流量計の校正は、EAM※1で管理されておらず、点検計画実績管理表も未作成で管理者が管理できていなかった。 ■ 設備稼働前の確認手順及び記録の作成管理が不足していた。



【業務管理のしくみの改善】	実施段階
EAM管理対象としていなかった機器の点検計画管理方法の改善	EAMの改良を実施
固型化設備稼働前の確認プロセスの改善	定期的に有効性を評価
業務に即した手順への見直し	定期的に有効性を評価

【業務運営の問題】
<ul style="list-style-type: none"> ■ 管理者が業務管理を適切に行っていなかった。 ・作業の進捗を確認・把握していなかった。 ・監査資料の確認ができていなかった。



【業務運営の改善】	実施段階
管理者によるマネジメントの改善	内容を見直しながら実施
内部牽制の強化につながる管理方法の改善	定期的に有効性を評価

【意識面の問題】
<ul style="list-style-type: none"> ■ コンプライアンス(不正をしない, ルールを守る)の意識が一人ひとりにまで十分に浸透・徹底していなかった。 ■ 「報告する文化」, 「常に問いかける姿勢」の意識が一人ひとりにまで十分に浸透・徹底していなかった。



【意識面の改善】	実施段階
本事案の事例研修を実施	内容を見直しながら実施
「地域に対し一人ひとりが約束を果たし続ける意識」をさらに向上させるための取り組み	内容を見直しながら実施
適切な発注業務管理の推進	内容を見直しながら実施

※1統合型保全システム(EAM:Enterprise Asset Management)

原子力発電所の設備に対する保全の計画・実施・結果に係る情報を統合的に管理するシステム

※2EAMの改良が完了し、H29.4.1より運用開始。これにより、再発防止対策の全項目が実施済または実施中の段階となった。